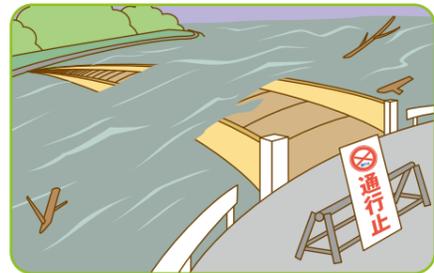


大雨、強風、大雪、雷、竜巻などから、わたしたちはどのようにして自分の身を守ればよいのでしょうか。

 大雨、強風、大雪、雷、竜巻から自分の身を守るための行動を知っておきましょう。

## ●大雨のとき

川や用水路を見に行ったり、近づいたりすると、あふれた水で流されてしまうきけんがあります。大雨のときはぜったいに川や用水路に近づかないようにしましょう。



山やがけの近くでは、土砂くずれなどのおそれがあります。次のような変化があれば、すぐに避難しましょう。



- ・小石が落ちてくる。・水がふき出す。・側溝や小川に流木（えだ）などがまじる。
- ・雨なのに側溝や小川の水がへる。・ゴーという山鳴りやおかしな音がする。
- ・斜面やその近くにひびができたり、木がかたむいたりする。

## ●強風のとき

建物の中にいるときは、まどガラスがわれるきけんがあるので、カーテンをしめ、まどに近づかないようにしましょう。外にいるときは、じょうぶな建物へ避難しましょう。



## ●大雪のとき

屋根の上に積もった雪が落ちてくるきけんがあるので、雪の積もった屋根の下には近づかないようにしましょう。



## ●雷・竜巻・局地的大雨のとき

次のような変化を感じたら、積乱雲（入道雲）が近づいてくるしるしです。まもなく、はげしい雨と雷がやってきます。竜巻がおそってくるかもしれません。

### 積乱雲には気をつけて

- ・真っ黒い雲が近づいてきた
- ・雷の音が聞こえてきた
- ・急に冷たい風がふいてきた



写真提供：気象庁  
発生した積乱雲

まよっている時間はありません。  
すぐにきけんな場所からはなれ、安全な場所にはやく避難しましょう！



はげしい雨の中を歩くのはきけん。しばらく雨宿りを！



しばらくの間、  
じょうぶな建物の中で、  
身を守りましょう。



あつという間に水かさが増え、流れがはげしくなります。川のそばからはなれて！



雷が落ちたり、とつぶうてゴールがふき飛ばされたりします。建物の中に入って！



木に落ちた雷で感電することがあります。木のそばからはなれて！



竜巻が近づくと、いろいろな物もうスピードで飛んできます。人や自動車が飛ばされることもあります。じょうぶな建物へ避難しましょう。

出かける前には、  
天気予報を確かめて、  
空の様子に注意  
しよう。